

広報レポーターが気づいたまちの魅力

住みよさ実感

フードバンクISS



広報レポーター
橋本千代子(岩戸)

フードバンクISSは、令和3年12月に西印旛地域の活動のために設立されたボランティア団体。ISSは印西、白井、栄の3つの市町の頭文字です。メンバーは、市内の子ども食堂でも活動している人たち。設立以前は、千葉市のフードバンクちばまで車で行き、食品などをもらってきていたとか。

設立後は、地域の企業や団体、個人から食品などをもらったり、農家さんや家庭菜園をしている人から野菜や米などをもらえるようになったようで、いただいた物は小分けにして、ひとり親家庭や子ども食堂・地域食堂・地域の福祉団体などに提供しているそうです。

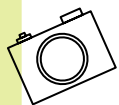
取材当日は、小分け作業の最中で、量ったお米や数種類のお菓子をそれぞれ小袋に入れたり、野菜を分けて新聞紙でくるんだりしていました。配布する会場は、ISS事務所（おおもりまちづくり会館内・大森3370）と市民活動支援センターの2カ所。配布日時は、毎月第2・4日曜日、第4木曜日の計3回で、13時30分から15時まで。配布日にどうしても受け取りに来られない場合には、下記にメールで相談すれば対応してくれるとのことでした。また、配布物はSNSで案内しており、現在約90人がISSを利用しているそうです。

現在、活動メンバー募集中とのことですので、一緒に活動したい人や、食品などの提供をしたい人は、ぜひ下記へ連絡してみてください。

☎ 問フードバンクISS・海老原 ☎090-9380-7448
宮本 ☎090-9297-8855
✉ foodbankiss@gmail.com



▲小分け作業をしている様子



取材当日の配布物



今年度の各月の
レポートはこちら▶

